



〔撮影場所:小倉北区内「北九州市役所」前〕

モチノキ科 クロガネモチ (黒鉄鰐) 常緑広葉高木 樹高10~15m

古来庭木としてポピュラーで、単独でシンボルツリー的に植えられている例が多いが、近年は街路樹としての採用例も増えている。5~6月頃、葉腋に径約4mmの淡紫白色の花が開く。

実は秋に結実し、赤く小さな実が数多くついて美しい。特に色彩の乏しい冬場、赤い実が長い期間色どりを添える。多くの鳥が実を好む。生長はやや遅いが、都市環境への適応力は大きい。



実と幹肌

赤く色づくクロガネモチの実。
冬から春にかけて長く実をつけているため、
多くの小鳥の食用とされているようで、



幹肌は樹齢が若い間は黒っぽいのが、
老樹になると白色が増す。

街路樹としての代表的路線
門司区 国道3号
小倉北区 三萩野魚町線